



初めての会場で救護ケア

マラソンフェスティバルナゴヤ
愛知2016「名古屋ウィメンズマラソン」

3月13日(日)、5回目を迎えた「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2016」が開催された。今年は大大会のメインイベントである「名古屋ウィメンズマラソン」を初めてサポートし、本会会員17名(実習生4名を含む)が男女ランナーに対して救護ケアを行った。



本会含め4団体が、名古屋市東スポーツセンター2Fの第1競技場を4ブースに区切り活動した。午前10時20分、第2ブースに集合。小林事業部長、河合・井上両事業部員、石川 真(半田)会員、押谷 昌之(大曾根)会員らの主導にて、資材を搬入し準備開始。今年には会員に加えて、アダチ接骨院のスタッフでありアスレチックトレーナーを目指す女子学生4名にも手伝ってもらった。10時25分、森川会長は挨拶にて「初めてのフルマラソンの活動で、要領の分からない部分もあり、長時間に亘る活動になりますが、協力し合って進めて頂きたいと思います」と述べた。12時40分、男性のランニングドクターを皮切りに132名の男女ランナーに対して、柔整手技、ストレッチング、アイシング、テーピング等を施行した。



昨年までと比べると、活動場所が屋内に移って手狭になり、また女性が対象にもかかわらず施術会場がオープンスペースであったためプライバシーの確保が困難であった。経費削減のためベッド数を12から7床へ減らしたため施術希望者が殺到し十分に対処することができなかったが、一方で女性スタッフの参加により股関節周囲のテーピング貼付ができた。

参加者の年齢層は、ハーフでは前期高齢者の方の参加など年齢層に幅がみられたが、ウィメンズでは参加者は中高年までに限られた。

損傷部位はハーフと変わりなく圧倒的に下肢傷害が多い傾向にあった。疲労度は明らかにハーフよりも高い状態であった。

初めての会場での活動は手探り状態でありいくつかの課題が残されたが、午後4時55分参加会員の協力のもと無事活動を終了した。来年度以降はこの課題を活かしてよりよい活動にしていきたい。

平成27年度講師派遣事業終了

日福大社会福祉総合研修センターから依頼されて実施している講師派遣事業の平成27年度分が無事終了した。

「転倒からの復活」7件(聴講者200名)・「腰痛予防」2件(同57名)の、合わせて9件(同257名)が開催され、各地で会員が活躍した。平成17年度から始まったこの事業は11年目を迎え、のべ196ヶ所で5,434名に対して研修を行なったことになる。

また今回は、高年大学鯉城学園から「転倒予防教室」の依頼が1件あり、40名に対して研修を実施した。

研修センターからは平成28年度分も派遣依頼を頂き、すでに「転倒からの復活」で8件、「腰痛予防教室」で4件の開催が決まっている。

第3回研修センター主催講師懇談会



3/5(土) 11:30~14:00
キャスルプラザ名古屋

研修センターの研修事業に協力している各方面の講師44名と大学側スタッフ17名の親睦と情報交換を図るために行われ、長谷川担当副会長が代表として参加した。

Welcome!! 新入会員

氏名	生年月日	支部
藤原壮一	S47.11.2	刈谷
出身校	段位	趣味
中和医療	—	釣り



認知症・軽度認知障害の運動療法を学ぶ

第28回機能訓練指導員実務研修会
(第11回フォローアップ講習会)
第85回会員研修会

3月6日(日)連盟総会に引き続き10時30分から12時まで、本会会館講堂において、240名(勤務柔整師10名を含む)が参加して、第28回機能訓練指導員実務研修会(第11回介護予防認定柔道整復師フォローアップ講習会)・第85回会員研修会が開催された。

今回は、中部大学生命健康科学部理学療法学科教授 理学療法士の対馬(つしま)明先生をお招きし、「認知症の理解とその予防法～運動療法を中心に～」と題してご講演頂いた。

森川会長は挨拶にて「地域包括ケアシステムへの参入を進めるうえで認知症対応は避けて通ることができない課題である。認知症の理解と運動療法を中心とした予防法について、しっかり勉強し今後役に立ててほしい」と述べた。

対馬先生は、認知症の正しい理解、認知症に対する各種療法、軽度認知症障害(MCI)と、その予防のための二重課題によるコグニサイズなどの運動療法などについて、過去に整形外科で柔道整復師と勤務された経験談やユーモアを織り混ぜながら説明された。現在のところ認知症を治療する方法はないが、MCIを早期に発見し認知症の発症を予防することが重要である。二重課題による運動療法はMCIに効果がある。二重課題の運動療法は、その課題に慣れたら新たな課題を設定する必要があると締めくくられた。



連盟総会、研修会前に開催。89名が出席



機能訓練実務研修会と同日の3月6日(日)、午前9時30分から10時10分まで、会館講堂にて愛知県柔道整復師会連盟総会が開催された。例年は研修会終了後の午後から行われるが、昼食を挟む効率の悪さとそれに伴う出席率の低さを解消するため、今回は研修会の前に時間を繰り上げて開始された。そのため昨年(48名)を大きく上回る89名の会員(委任状561名)が参加した。

総会は神谷徳太郎(半田)・山本正大(岡崎)両総務部員の司会で進められた。冒頭、森川委員長は、今年7月の参議院議員選挙に対する協力を求めた。また連盟活動として、業務拡大、とくに「地域包括ケアシステムへの参入」に引き続き重点を置くことなどについて述べるとともに、今後の支援・協力と議案の承認を会員に求めた。

議長・副議長にはそれぞれ佐野 恵(半田)・濱 巧(大曾根)両委員が選出され以下の5議案が円滑に審議され、すべて承認された。

議長・副議長にはそれぞれ佐野 恵(半田)・濱 巧(大曾根)両委員が選出され以下の5議案が円滑に審議され、すべて承認された。

1. 平成27年分愛知県柔道整復師連盟事業報告承認の件(早川岩雄総務担当責任者)
2. 平成27年分愛知県柔道整復師連盟収支決算書承認の件(佐藤鉦樹会計責任者)
3. 監査報告(河合一弘監事)
4. 平成28年分愛知県柔道整復師連盟事業計画(案)承認の件(早川総務担当)
5. 平成28年分愛知県柔道整復師連盟収支決算書(案)承認の件(佐藤会計責任者)

美浜町委託締結

2月1日、本会と美浜町との間で介護予防事業(美浜町運動器機能向上訓練個別指導事業)の委託契約が締結された。たびたびの町との折衝や会員同士の勉強会が実を結び実現した。昨年8月の南知多町に続き、14市4町めの参入となる。